

「リストラクションが終了しました。」

RECONSTRUCTION

リストラクションとは

私たちが池袋で地域冷暖房の取り組みを始めて、四半世紀、機械設備の老朽化が進む一方、地球温暖化の加速による環境破壊という問題が、世界中で叫ばれるようになりました。私たちは、環境に配慮し、熱の安定供給を継続していくために、プラント全体のあるべき姿を追求してきました。そして単なる機器のリプレイス「設備の更新」ではなく、最適システムへの「再構築」という考えにたどり着きました。それが、「リストラクション」です。

2002年4月に着工し、お客様に安定供給を続けながら6年の工期を経て、2008年3月に無事竣工いたしました。

リストラクション計画の目標

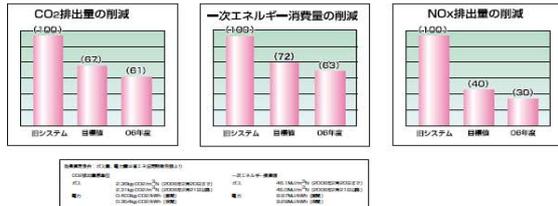
1. CO₂ 排出量削減 33%
2. 一次エネルギー消費量削減 28%
3. エネルギーコスト削減 33%

リストラクション目標及び対策

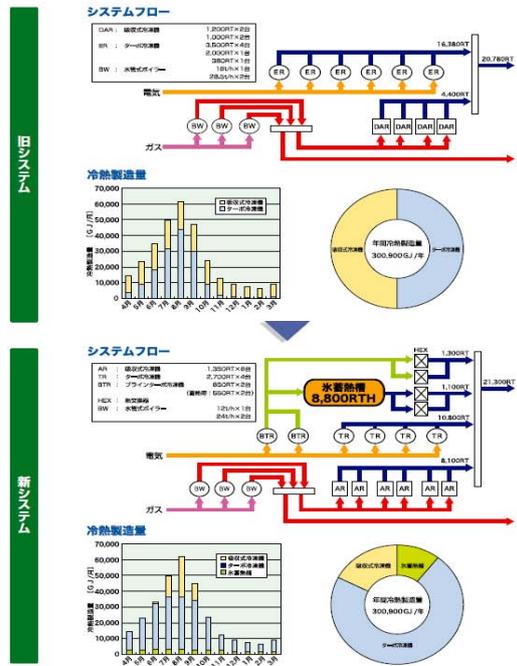
目標	対策
設備容量 ①設備容量の適正化 旧容量:20,780RT ②高効率機器の導入 ③吸収式・ターボ冷凍機の容量比・物販比の適正化 ④電力負荷の平準化 ⑤低負荷時の運転効率向上 ⑥環境負荷の低減	設備容量 ①設備容量 21,300RT ②最新機器の機种的採用 ③吸収式・ターボ冷凍機の容量・冷熱製造比の変更 ④蓄熱式システムの導入 (氷蓄熱機、フラインターボ冷凍機) ⑤台数分割の適正化 ⑥CO ₂ ・NOx排出量、一次エネルギー消費量の削減 (代替フロンのR134a)の採用
電気設備 ①安全性の向上 ②高効率機器の導入 ③環境負荷の低減	①受変電機器のオイルレス化 ②高効率モーターの採用

リストラクションの効果

氷蓄熱システム以外の更新がほぼ終了した2006年度の実績は、竣工後の最適システム目標値を大きく上回る30%以上の削減となりました。熱供給プラントのリニューアルモデルの代表例とすることが期待できます。



システムの対比



最新の設備



平成20年4月11日に竣工式・祝賀会を開催し、多数のお客様にご出席いただきました。



竣工式



祝賀会

